

2016年度

日本文化史 (科目 6b016)

|      |        |    |  |     |      |      |         |
|------|--------|----|--|-----|------|------|---------|
| 曜日   |        | 時限 |  | 単位数 | 2 単位 | 開講学期 | 集中 (前期) |
| 履修条件 | 1 回生以上 |    |  |     |      |      |         |
| 担当教員 | 卯田 宗平  |    |  |     |      |      |         |

授業目標

本講義の目的は、自文化/異文化の捉え方をめぐる文化人類学の概念や日本民俗学の方法論について学び、日本文化について論じた基礎的な文献を通して日本人や日本社会の特質を理解する。そのうえで、日本列島におけるさまざまな生業形態を手がかりに「いくつもの日本文化」を具体的に学ぶ。

授業概要

この講義では、異文化との比較のなかで日本文化を論じた文献や概念をとりあげ、日本文化がどのように論じられてきたのか、その論及にはどれだけの普遍性があるのかといった点を批判的に学んでいく。くわえて、概して一枚岩で語られがちな日本文化論ではあるが、日本列島における農耕文化や漁撈文化、山村文化を理解することで、日本における自然と人間、人と人とのかかわりの多様性を理解する。

授業計画(半期科目)

| 授業 | 授業内容・時間外学習 (予習・復習)          |
|----|-----------------------------|
| 1  | イントロダクション (文化とは、異文化とは)      |
| 2  | 異文化の捉え方 (文化人類学の概念とその課題)     |
| 3  | 日本文化へのアプローチ (日本民俗学の方法論と成果)  |
| 4  | 日本人の特質はあるのか                 |
| 5  | 日本社会の構造とはなにか                |
| 6  | 日本の食文化 (和食とは何か、食文化史の時代区分など) |
| 7  | 日本の民俗文化 (西と東、民衆の発見)         |
| 8  | 日本の農耕文化 (稲作と畑作、照葉樹林文化論など)   |
| 9  | 日本の漁撈文化 (漁場利用、コモンズ論など)      |
| 10 | 日本の山村文化 (焼畑、入会利用)           |
| 11 | 日本の遊宴文化 (鵜飼など)              |
| 12 | 文化を記録する方法論 (日本民俗学の調査方法)     |
| 13 | 行動や習慣を理解する方法論               |
| 14 | 授業内試験                       |
| 15 | まとめ                         |

履修上の注意

評価方法

持ち込み許可の定期試験によって評価する。評価の基準は、論述の新鮮さや明確さ、内容の正確さを重視する (具体的には授業中に説明する)。

教科書

参考文献等

出) 著)

出) 著)

参考URL

特記事項